

バリ島・ボランティアプログラム

このたびはバリ島のボランティアプログラムに興味をお持ちいただきまして、ありがとうございます。
この資料では通年個人で参加できるプログラムに関する情報を提供しております。お気軽にいつでもご連絡ください。

個人で通年参加できるバリ島・ボランティアプログラムには、「障害孤児院ボランティアプログラム」と「幼稚園ボランティアプログラム」があります。どちらのプログラムもいつでもご出発して頂けます。

バリ島プログラムのコンセプトは「ボランティア」と「文化体験」です。バリならではのいろいろな体験をしましょう。

バリには「神々の島」の通称にふさわしく、家族や自分の生まれ育った地域社会を大事にし、人間としての清い心を持ち続けるためのイベント（お祭り）が頻繁に行われています。文化や芸術も人々の生活の一部となっています。そんな深いバリ島を紹介することを目的として企画しました。

● バリはどんなところ？

バリ島は、インドネシアジャワ島の東隣にある島です。古くからリゾート地として開発されたことでも知られており、日本人をはじめ世界中から観光客が集まります。

● ボランティア活動

活動はスタッフから指示を受けるものではありません。参加者自らどんどん活動を求めていく姿勢が必要です。基本は子供たちと楽しく遊ぶということです。



歩くときには足元に注意

バリ島には文字通り至るところに神様が祀られており、そんな神様たちに毎日地元の人たちが画像にあるようなお供え物を捧げています。これらお供え物は、寺院や道の横にある祠は言うに及ばず、何の変哲もない道端にもさりげなく置かれていたりします。でもそんなお供え物のなかには、ときに蹴散らされたような、無残な姿になっているものも…。これらは地元の人たちが丁寧に供えたものを、心ない旅行者がそれと気づかずに蹴散らしてしまったものなのです。街を歩く際には、お供え物を踏んだり蹴ったりしないように気をつけましょう。



バリのメインコーディネーター紹介

ウタマさん。日本語に堪能で、冗談好きな明るい性格の方です。空港に到着したときからプログラムのイベントのための送迎やガイド役など、皆さんのお世話をします。

「日本が好きで、4年かけて日本語を勉強しました。まだまだ勉強中です！」

・ 障害孤児院ボランティアプログラム

孤児院紹介

孤児院 Kasayang Ikang Papa Orphanage

1983年に9人の障害を持った子どもたちから発足されたこの孤児院は、障害を持った孤児を受け入れるという独特な体制が有名になりました。とりに学校「Sekolah Luar Biasa」が併設され、その学校にはおよそ60名の障害を持った子どもと、孤児が通学しています。自宅から通学する生徒もいれば、およそ20数名の子どもたちはスクールマスター夫婦の運営する孤児院で一緒に暮らしています。

活動内容は、孤児院や学校でのサポートになります。またランチを振舞うこともできます。参加者のレポートを参考にしてください。

午前8時～11時頃は小学生の授業があり、終わり次第、寮に戻りご飯を食べます。そして、入れ替わりで、午後1時～3時頃は中学生の授業となります。ですので、活動可能時間は、朝8時頃～夕刻までと考えて頂ければと思います。ご自身のスケジュールに合わせて、午前のみ、午後のみ、又は1日を通しての活動が可能です。

※寄付のお願い：活動先となる障害児童をケアする孤児院への寄付を是非お願いいたします。料金はいくらでも良いですが、1000円程度が目安と考えています。



「孤児院の子達の学校でとりました。先生たちがとても気さくな方でいろいろ話をしました。みんな明るく表情が豊かなので、いろいろと表情で気持ちがわかるんだと思います。名前はその子の特徴などがあだ名になるらしいです。」



「子供たちはホテルで踊りをしています。孤児院の収入の一部になるのでしょう。言葉は話せないけれどもそれにより表現は人よりも優れているとのこと。男の子も女の子もとてもカッコよく、きれいになってました。化粧をした後の表情は小学生や中学生には見えないような、ほんと大人っぽい雰囲気でした。写真を撮るときは絶対きめ顔になるのでおもしろかったです。」

● 滞在先はホテルです。



場所はギャニャルで、孤児院から徒歩 10 分程度のところにある清潔で落ち着いたホテルでの滞在となります。周りには食堂やコンビニなども多く、便利な場所です。

(同時期の参加者がいる場合は一部屋をシェアして頂いております。)

● **バリ島・障害孤児院ボランティアプログラム・サンプルスケジュール 5泊7日の場合**

| DATE | 午前 | 午後・夕刻 |
|------|--|--|
| 1 | 関西空港、成田空港から弊社指定の便で出発。バリ島デンパサール空港到着後、コーディネーターが空港でお出迎えしホームステイへ移動 | |
| 2 | オリエンテーションと現地観光 | |
| 3 | 孤児院ボランティア | 自由 活動もできます。 |
| 4 | 孤児院ボランティア | 自由 活動もできます。 |
| 5 | 孤児院ボランティア | 自由 活動もできます。 |
| 6 | 観光 | この日にバリ島を出ます。飛行機の時間によっては、ボランティア活動もして頂けます。 |
| 7 | 日本へ帰着 | |

※現地の事情により予定が変更される場合があります。

・幼稚園ボランティアプログラム

幼稚園紹介

だいたい 5 歳くらいまでの子供たちが幼稚園にいきますが、もちろん義務教育ではありません。小学校のための準備のようなもので、けっこう自由な雰囲気です。クラスは 2 つにわかれ、それぞれ 1 年の保育となっています。外から親が入って一緒に遊んだりするのも平気です。日本の幼稚園の比べると「統制」という点では劣りますが、ボランティアの私たちが気軽に参加させていただき、いろんな交流をさせていただけるのは本当にありがたいことです。だからこのプログラムに参加する方には沢山何か用意していただけたらよいでしょうね。



バリ島の幼稚園は、基本的に朝 8~10 時までで、休日は日曜日とお祭りの日（バリ島のカレンダーで確認することができます）です。1 クラスの人数はだいたい 25~30 名程度です。



● 滞在は清潔なバリ式ホームステイです。



このプログラムに参加する方々は現地のホームステイに滞在します。場所はウブドです。幼稚園から徒歩圏内にあります。欧米諸国のホームステイとは雰囲気が違い、母屋があり、離れの部屋をゲストルーム専用として貸しだしています。現地のホームステイはゲストハウスのような感覚だとお考えください。

（同時期の参加者がいる場合は一部屋をシェアして頂いております。）

● **バリ島・幼稚園ボランティアプログラム・サンプルスケジュール 5泊7日の場合**

| DATE | 午前 | 午後・夕刻 |
|------|--|--|
| 1 | 関西空港、成田空港から弊社指定の便で出発。バリ島デンパサール空港到着後、コーディネーターが空港でお出迎えしホームステイへ移動 | |
| 2 | オリエンテーションと現地観光 | |
| 3 | 幼稚園ボランティア | 自由 |
| 4 | 幼稚園ボランティア | 自由 |
| 5 | 幼稚園ボランティア | 自由 |
| 6 | 観光 | この日にバリ島を出ます。飛行機の時間によっては、ボランティア活動もして頂けます。 |
| 7 | 日本へ帰着 | |

※現地の事情により予定が変更される場合があります。

・ **お得な複数参加（2名様以上）の特別文化体験**

お友達同士 2名様以上でご参加いただく場合、ボランティア活動に加えて文化体験も無料で提供いたします。文化体験の内容は、ASHITABA 細工、バリ舞踊鑑賞、またバリ料理・バリ伝統衣装試着体験（これはウブド滞在の方に限ります）等です。尚、これは春休みと夏休みにおこなうグループプログラムで参加するものと同じ内容のものを提供することになります。滞在日数や滞在場所によってアレンジできる内容が変わりますので、ご了承ください。



ASHITABA 工房で みんなと一緒にクラフト作成に挑戦 思い出のコースターができました！



ホームステイで料理体験

ビーチで遊ぼう！

迫力のバリダンス!?

募集要項

個人参加 バリ島・幼稚園及び障害孤児院ボランティアプログラム

| | |
|-----------|------------------------------|
| プログラム参加費用 | 最少催行人数は1名です。 |
| 5泊7日 | 68,000円 (2名以上の場合お一人63,000円) |
| 10泊12日 | 83,000円 (2名以上の場合お一人75,000円) |
| 15泊18日 | 115,000円 (2名以上の場合お一人98,000円) |

※延泊は、お一人3,000円/1泊となります。

＜プログラム費用に含まれるもの＞

バリ島デンパサール空港からホームステイまでの往復送迎

滞在期間中の宿泊費用（朝食付）

日本語ガイドによる観光

派遣先への初回案内

アクティビティの手配

滞在期間中の現地でのサポート（現地コーディネーターが色々な相談にのってくれますので、ご安心ください。バリの文化、歴史、宗教、伝統行事などを深く知るために充実した内容のプログラムをコーディネーターが考えています。）

＜プログラム費用に含まれないもの＞

バリ島・デンパサール空港までの往復航空券（CECが手配する事も可能です）

海外旅行保険加入費用

現地でのビザ取得費用（\$25）、出国税（およそ1500円）

現地でのオプションツアーなどの参加費用（その他、寄付など一部、寺院参拝料、小額費用を現地でご負担いただきますのでよろしくお願いします。）

食費 1日700円程度（食べる場所により変わります）

食事は滞在先近くの食堂でとれます。一般的にバリのレストランは少し高めレストランが多く、地元の人が使うレストランで300円程度、外国人用の少しおしゃれなレストラン（棚田を見下ろすレストランなど）では1,000円程度かかります。

＜各プログラム共通・お申込方法＞

参加申込フォームを利用ください。

CECのWEB上の参加申込フォームから必要事項を入力いただき送信ください。

申込金の20,000円はフォームの送信後3日以内にCECの口座までお振り込みください。申し込みフォームと申込金の到着を以って成立とさせていただきます。

申込の際の留意事項

- パスポートの残存期間が6ヶ月以上あることをお確かめ下さい。無い場合は、お早めに新しいパスポートを更新ください。
- 未成年者の方は、保護者からのメール、ファックスなどでの同意書を必要とします。
- WEB上でプログラム参加規約をご確認のうえ、お申込みください。

お問合せは下記までお気軽にご連絡ください。

CEC ジャパンネットワーク

532-03 大阪市淀川区宮原 1-16-2-604

Tel 06-6397-7030 e-mail info@ceci.net

参加者レポート (グループ参加した方からのものです。)

参加者レポート

参加期間 2010年9月

参加の動機

以前から海外ボランティアに興味があり、今回のモニター参加で行くと料金がとても安く、内容に関しても幼稚園や孤児園訪問など自らの興味がある分野で魅力的だったからです。

周りの環境

夜は11時をすぎると人気が無くなり、野犬があふれる。会話の中で「神様が決めた事だから」等の発言をよく耳にするほど宗教が日常に浸透しているので、宗教に否定的な考えや気持ちを持たない事。

イスラム教のジャワ人、ヒンドゥー教のバリ人、両方の人と仲良くなったがお互いに相手の事を受け入れる様子はなかった。以前あったクタでのテロ事件などで両者に溝があるように感じて、同一国のなかで宗教的な対立を垣間見れた。

ボランティア活動に関して

障害児童施設訪問 活動日数 4日 活動時間 13:00~17:30

持参した折り紙や縄跳びで一緒に遊ぶ、英語や数学の授業を先生と一緒に教える

日本語や日本の事を授業として教える

感想 ほとんどの生徒が言葉を喋れず、手話で会話をしていた。彼らとはボディランゲージで意思疎通は可能であり、中身(性格)は日本の同い年の子供たちよりも好奇心や行動力が強いように感じた。

お勧めの観光スポット、お店、レストラン等があればお知らせ下さい。

キンタマーニ高原からの風景はとてもよかった。景色のよい場所が好きな人なら1日いる事も可能だと思う。大通りに面しているレストランは観光客用の価格だが、1本細い路地に入った所にあるようなお店は値段も安く、どこも美味しかったです。

女の子は深夜に一人で出歩かないなど、日本と同様に気をつければ問題はないと思う。男の子は特に何も心配なし。

フリータイムに関して

ラフティング(車での送迎、昼ご飯付き) 3500円 バイク 1日レンタル 500円程度

ウブドはバイクをレンタルすればどこでも行く事が可能であり、自分で好きなように過ごしたい人にはお勧めである。

※CEC ではバイクレンタルは免許や安全の関係でおススメしません。

(例：水500ml 2500ルピア (約25円)、ナシゴレン15000ルピア (約150円)、ワンピース50000ルピア (約500円) 等) 水1リットル 3000ルピア

食事 1食 10000~30000ルピア

ダンス鑑賞 70000ルピア

乾季にも関わらず毎晩のように雨がよく降った。

気温的には日中は汗ばむ程度、高原にいくと半袖では寒い。

服装は？ 半袖・半パンで適度。

夜や高原に行く場合には上着を一枚持っていく方がよい。

持ち物に関して

日本より用意し、役に立ったものは？ 折り紙



孤児院、折り紙を教える



孤児院の隣の学校（障害を持った子供達）が行っている。授業風景



孤児院でみんなで集合写真



みんなでカレーを作って食べてもらいました。評判は微妙。



孤児の子供たちとオレ